

学校づくりアンケート（教職員向け）に寄せられた声の紹介

2018年2月 尾北教職員労働組合

1 道徳の教科化

(評価について)

- 5 ●道徳を評価しようとする、導きたい方へ誘導する授業になってしまうのでは…。また教師の負担が増えるのは間違いなく、教科化は反対。
- 評価を意識しすぎるあまりそれにとらわれた授業にならないか心配。
- 担任の負担増や評価に対する保護者の理解が得られるか心配。本当に教科化することの目的は何か。問題解決に結びつくか。
- 10 ●通知表に所見を書く欄が増えることが多忙化だと思います。
- 評価の仕方が難しい。
- 評価の問題（方法記述の仕方など）があまり（ほとんど）話し合われていないので不安。
- 評価の仕方がわかりにくい。なぜ評価しなくてはならないのか。
- 15 ●夏や秋に現教で講師を招き研修をしました。ポートフォリオ評価が中心となり毎回の授業のプリントを一冊のファイルにまとめ心のあゆみのような形で渡せばよいのでは。
- 評価（基準）については学校や学校間でよく検討したいと思います。
- 教科化はいいが評価の仕方が不安。
- 20 ●本音を言うことはできても文書で書くときにはありきたりな文になってしまう子どもが想定されるので評価の具体的なイメージが共有化されることが大切だと思う。
- 評価をどのように行うのか指針が欲しい。
- 心がけは授業のワークシートなどでは評価できないと思います。
- 所見があるので気が重いです。
- 25 ●多忙化につながるのでは。
- 記述評価は負担が大きい。

(授業内容について)

- 30 ●道徳性は、押しつけて身に付くものではない。だから教科にはなり得ない。それでも「考える道徳」になるよう授業を工夫していくべき。そのために教材研究、教材の掘り起こしを一人ではなく集団でしていけるといいと思います。
- 「～ができていますか」「できたら色をぬろう」のように規範意識を持たせることが強められ、本来の「共感」を大切にしたい道徳教育からずれていく心配を感じる。
- 今の現状でも本音を言わない生徒はいると思います。
- 35 ●道徳で使った資料や板書指導案など各お話ごとにファイリングし残していただくと有り難いです。
- 今までも道徳はやってきたので特に変化はないと思っています。むしろ何でもありになったのでいろいろ試してみたいです。
- 教科としてはすごく難しいと思います。心配になる担任の方も多いのでは。

40

(学校での取り組みの例)

- 一昨年と昨年度で一人が7～8時間の指導案がノルマとされ先取りで道徳に力を入れた。しかし、子どもの道徳性が特に向上したとは思えない。
- 外部講師を招いて年間を通じて研修を継続しています。
- 45 ●現職教育で教材研究、実践
- 人権週間やハートフル集会に向けてありがたい感謝の気持ちが持てるように道徳の授業に取り組んでいる。

- 現職教育で話が出てきている（文科省資料を配付）。
- 現職教育で説明してもらったり，専門部会で方向性を出していただいたりしている。よく理解していきたい。
- 校内に道徳研究部会があり，部会中心に校内の道徳授業の取り組み方を提案してもらっている。
- 毎年「道徳授業参観」行っている。
- きちんと時間数分実施されるように学年で道徳の時間を同じ時間に設定した。
- 現教での研修。
- 学校での特別な取り組みは今のところない。
- 校内研究 2 学期 2，3 回（全体会と学年一人出席の話し合い）。

（その他）

- 学級経営に授業が左右されることが心配。教師の手腕による。
- とても不安です。
- 決定したものには従うしかないが実施した上で教科という枠が合っていないのならもとの形に戻すべきだと思う。
- これまで道徳の時間が軽んじられた事実を思うと教科化することで充実した時間になる可能性が高くなっていくと思う。
- 教科化をもどすよう国に要請したい。反省文ならだれでも書ける。本当に反省せずとも。

2 小学校での英語の教科化

（英語教育について）

- 英語は中学校の醍醐味。小学校でやる必要はないと思う。オールイングリッシュの授業は，伸びる子は伸びるが，わからない子にとっては苦痛でしかない。
- まず日本語。中学からでいい。小さいうちは耳を育てられればよい。うすっぺらな英語しか話せない国際人が増える。
- 小学校でカリキュラムの見直しをして，指導内容のスリム化が必要だと思う。そもそも母語の学習の方が大切だと思っている
- 学習内容が増えたりアクティブラーニングをしたりして大変です。とても余裕がありません。英語塾に行っている子は得意気ですが，その他の子は覚える内容が多くていやになっている子もいます。
- 子どもにとっても学習内容が増えることになり，意欲的に学べるのか疑問です。
- 小学校の英語はコミュニケーションを楽しむだけで十分だと思う。
- 評価方法がよく分からない。
- 英語は必要ない。正しいしっかりとした日本語教育が国際人であると思います。
- 小学校の授業と中学校の授業が大きく異なる点が心配。「グローバル社会の礎」って英語をやることなのか？外国語だから英語以外にもしなくてよいのか？
- 今の 5・6 年は週 1 時間，1～4 年は年 8 時間で子どもは外国語活動を楽しんでいるし，これ以上増やさなくてよいと思う。
- 中学校の英語による英語の授業は子どもの実態を考えると難しいと思います。
- 英語には低学年からなれて欲しいと思うがもっと広い視野から見て他教科との関わり合いの中で取り入れて欲しいものだ。
- やるなら中途半端な外国語活動より英語学習にした方がよい。
- ローマ字の前にアルファベットを習うなどして小学校から慣れておくとよいと思います。

(専門性や時数増などへの対応)

- 担任がやることには不安があります。テキスト「We Can!」の難易度も高く、本当にできるのでしょうか。
- 特に専門の技能が必要なのに、担任一人で授業を行わなければいけない時間が多いのは大変不安である。
- 小学校については、これまで以上に行うのであれば、担任への負担を減らすためにも、講師などに授業を行ってもらうことで専門性も上げていくべきだと思う。
- 高学年の授業で中1の段階の授業内容に取り組むのであれば、明確な位置づけをして、確実に習得できるようにするべきでは。そのためには専門の教員を配置してほしい。
- 授業時間について、しっかり検討もされず、現場にまる投げで、多忙化解消と反対の方向に向かうものです。
- 英語が得意ではないので指導に不安があります。
- 教師の多忙化につながるのだと思います。
- 日本人教員のみ英語の授業は負担が増えると思います。
- 英語専門の先生を来て頂くことを予定しているか知りたい(NETの先生以外、理科や算数のように)。
- 今の授業時間数で英語だけを増やすのは先生たちは大変です。
- 担任任せにしないよう英語講師の加配をしてもらわないと困る。働き方改革と逆行している。
- 担任が教えることになるので特に高学年の授業が心配。
- 多忙化につながるのでは。
- ALTの充実をお願いしたい。
- 小学校高学年については英語のみの教員を置くべきと考える。
- 担任一人に押しつけられるような体制。研修が必要だが多忙化も困る。
- 担任にも英語研修が必要かも。
- 時数が増えること不安があります
- これ以上に授業数増加は無理。増やすばかりではすべてがくずれる。
- 運動会や学芸会のため空計上している教科のことを考えれば小学校にはまだまだ十分対応できる余力が残っています。
- 3学期から試行するという話が出て主任を集めた話し合いでごり押しされ給食後の帯時間に取り組むことになったようだ。

(その他)

- 英語は全くできないのでただただ不安である。NETの先生と行うときも単語をつないで話すだけで、笑顔でごまかしている状態です。
- 専科教員で高学年5教科を行う必要があるのでは。小学校間でしっかり連携し、基準や規準を明確にして統一して欲しい。
- 研修が重要になってくる。音楽、理科、英語は教科担任で。少人数やTTも。

3 全国学力テスト

(テスト対策について)

- 事前に過去問をすることは、本当の実力を知ることにはならない。
- テストの形式や内容が学校での授業内容とかけ離れているために、事前の練習をさせている学校ほど点が高いと思われる。全く本末転倒です。
- 過去問題で練習してからは、テスト対策をしている学校とそうでない学校との差が広がり、正確な学力をはかれないのではないかと？

- 義務教育でやることではない。
- 普段の学習に支障が出るようでは問題外である。
- 抽出でよい。過去の失敗を繰り返している。過去問などは本末転倒である。
- テストの点を上げるためにというのは、本末転倒だと思います。
- 5 ●調査のために対策を立てるという意味不明なことをやるべきではない。
- 本末転倒。やる意味をはきちがえている。
- 真の力が調べられないので、テスト対策は中止すべきである。
- 本末転倒。(過去問題を練習しないように) 厳しく徹底するべきだと思う。
- 過去問題で練習する必要はないと思います。
- 10 ●テスト対策をしても、子ども達のためにあまり意味がない。
- テストのためにテスト対策を行い、時間がとられるのは違う気がします。
- テストのための勉強にはなってほしくない。
- 計測のために対策で一時的に学力を上げて意味はないと思う。
- 事前に過去問を練習することは、学力テストの目的に反していると思います。
- 15 ●事前に練習させることはする必要がないと思います。
- 過去問を使って練習したら、公平な評価ができないと思う。
- (テスト対策をすると) 実力でないので、よくないと思います。
- (テストの点を上げるためにテスト対策をすることは) 本末転倒だと感じてしまいます。そうではない気がします。
- 20 ●過去問の練習をすると、本当の実力を測れないのではないか？
- これ(事前対策)はおかしい。学力を向上させるための取り組みはよいと思うが。
- (テスト対策は) 意味がない。点数だって、その校区の背景もある。外国籍が多ければ愛知の点が低いのもうなずける。
- 日ごろの授業やテストが学テに対応していないので、わざわざテスト対策を必要とする考え方が生まれるのだと思う。入試のあり方も含め、学テだけでは議論できないと思う。
- 25 ●普段学習している内容からレベルupしすぎで、活用しにくい問題も多いのでは…。
- むしろ過去の問題が解けるような授業を進めるべきで、点を上げるためというのはナンセンスです。

30

(全国学力テストについて)

- テスト結果だけでなく、授業や生活アンケートの部分に指導法の統制を感じる。
- 学力調査であるのなら、最小限、子どもや学校運営に支障のない方法をとるべき。
- テストをすることで学習を強いるなんて、本末転倒もいいところ。日ごろの学習を大切にしたい。
- 35 ●学校間格差を比較されると、校長さんにはきっとプレッシャーがかかっていると思います。
- 結局、競争となってしまう。
- 学力テストをどのような目的で行うのか、しっかり考えていきたい。
- 40 ●今の力を知るためのテストだと思う。県や地区での順位を出すから、順位が気になり、上に書いてあること(テスト対策)が起こるのでは？
- テスト対策を行う必要はないが、本人の実力をはかるものとして行っていけばよい。競争主義の激化は感じない。
- どちらでもよいが、統一するべきではないかと思う。
- 45 ●どこかで一律の評価が必要だからよい。(テスト対策するところは、好きにすればいい…。少しは力になるはず。)
- どんなテストなのか子どもも不安かもしれないので、一度過去問題を行うくらいな

らよいと思う。

- 中学や高校のテストに向けて慣れられるのでよいと思います。

4 時間外勤務の割り振り

(割り振りの現状について)

- 5
- 今年、「延長したので割り振りをとってください」と言われたことがない。取れなくても、言ってもらえると気軽に取れるのでは…。
 - 朝の登校指導は、ボランティアでやっている、ということなので(割り振りがない)。
 - どの分が割り振りか理解していない。
- 10
- とりたいが、仕事を進めることが多くとれない。
 - 夏休みなどにとってくれと言われても、全然ありがたくない。授業のある日に、取れる工夫がほしい。
 - 割り振りをとってもよいと言われるが、〇月中にと期限を決められると辛い。割り振りは長期休業中でないと、とりづらい。
- 15
- 長期休業中に割り振りをとらせてもらっている。でも、平日、残業していることが多い…。
 - 長期休業中とはとれる。平日は厳しそう(というより取ったことがない)。
 - 個人別の割振変更簿があるので、平日でも、とりたいときにとりやすい。
 - はっきりしない。
- 20
- 割り振りをとる雰囲気はなかなかないですね。
 - たまった仕事が多いから、ほとんどとれない。
 - 割り振りは、現実とることが難しいと思う。
 - 結局、割り振りはとれません。
 - 忙しい(のでほとんどとれない)。
- 25
- 16時に勤務解除などされても、やることがあるので意味がほとんどないと思います。
 - 割り振りがなくても同然。口で言われるだけで、自分から言い出しにくくて…。
 - 割振簿をきちんと作成してほしい。
 - 冬休みなど長期(休業中)にまわされる。
- 30
- 長期休業ではぼとれている。
 - 再任用なので、私自身は校長と日時を確認してしっかりとれている。
 - 長期休業中にとれているが、朝早いとその日はたいへん。
 - 決められた時間に休みをとることは難しいと思います。割り振りで良いと思います。
 - 長期休業の時に、勤務実態や校務文章などで柔軟に割り振りがとれたら(よい)。
- 35
- (「割り振りがない」に〇)学校におまかせ、例示だけする、ということはやっていない学校はハズレということですね。
 - (「ほとんどとれない」に〇)中学校の現場では、そもそも実情にそぐわない。
 - 本校は、会議が延びることはまずなく、朝の指導分以上に割り振ってもらっている。
- 40
- ##### (休憩時間について)
- 割り振りは、長期休業中にとらせてもらっている。それ以外の時には、とれない。しかし、毎日休憩時間もなく働いていて、その割り振りはない。
 - 昼の休憩は実質とれない。その分の割り振りはとれていない。絶対に休める時間の確保がされていないと思う。
- 45
- 本校は、毎日の休憩は実質とれない上に、運動会の練習や通学班集体会や運動推進週間など、昼休みを使うことが多く、働き通しです。
 - 業務に余裕がなく、休憩時間は、ほとんどとれていません。

- 毎日、取れないのだから5時までの勤務は全くおかしい。取れないから、4:15に勤務を解いてほしい。解くべき。

(年休について)

- 5 ●年休を使って、15分早く帰る人がいます。子どもたちが帰った後なので、校長配慮で「(年休を)取らなくてもいい。」とか「日頃の延長分で届け出なし。」と言ってもらえるとうれしい。
- 年休がとりやすいような雰囲気があるといい。平日は、児童がいるので取りにくいのが、割り振りも心置きなく使えるとよい。
- 10 ●結局、年休は夏休みなどの大きな休みにかとれない。
- 長期休業中にしか年休はとれないので、長期休業中の研修はもっと減らすべき。
- 年休など使用し切れない。
- ある程度年休などを消化するようにするとよいかも。
- 年休をとりやすい雰囲気の職種になるとよいと思うが、長期休業中と日ごろの差が大きすぎるので、平均すれば他の職種と変わらないのかもしれないと思うこともある。
- 15 ●以前働いていた会社より、年休等がとりやすいのでありがたい。(今の学校だけかも?)

(その他)

- 20 ●そもそも持ち帰る仕事がある。仕事多すぎ。
- もっと教員の数を増やして、一人一人の負担を減らしてほしい。
- 管理職がもっと気にして、職員に発信していくべき。
- 管理職の意識改革が必要。

25

5 多忙化解消と健康問題

(定数増・人的加配)

- 30 ●教育委員会が本気になっていることはいいことだと思います。しかし、道徳、英語の教科化など、それを上回る施策が現場に降りてくる。多忙化解消プランと同時に「教員を増やす」ことが重要だと思います。
- 空き時間をどの担任も週4~5コマ必ずとれるよう人員を配置すべき。1日1コマあると、全くちがう世界が広がる。
- 正規の教員増によって、学級児童や生徒の定員を減らし一人の教師が責任と余裕をもって子どもと向き合えるようにしてほしい。本来の教師の仕事ができるように。
- 35 ●業務支援員が早く配置され、データ入力などを委託できるとありがたい。
- 提出物のチェックや成績処理など、授業以外の業務を請け負う人員を配属するといったとりくみを早急に広げていくべきだと思います。
- 仕事の精選、教員数の増加を望みます。
- 教員の数を増やす。
- 40 ●教育に予算を増やし、とにかく人材を増やさなくては解消につながらない。
- 人員を増やしてほしい(コピーや丸つけなどでもいいから)
- 人員増加、少人数学級(30人)。所見減少
- 余剰時間分の給与をもらいたい。人を増やして担任以外でもやれることを振り分けてほしい。

45

(業務内容の見直し)

- 扶桑町のように通知表の所見を学年末だけにしてほしい。道徳、英語、総合と書く

欄が多すぎ。

- 部活動は、まずは朝練習をやめた方がいいと思う。中学校教育の本業の学習と生活全体のバランスを大切にすべき。
- 低学年にも空き時間がほしい。一日中、教室から離れられないのは精神的、肉体的に辛い。
- 多忙化解消のためには、県レベルでの教育及び教員の研修などのシステムを変更する必要がある。
- 時間外勤務を減らすように言われるが、仕事量は変わらず、むしろ前より増えているので無理である。根本的な仕事の見直しと体制づくりをしてほしい。
- 打ち合わせを少なくする。昼放課や2放に絶対に学習や行事等を入れないなど、しっかりと考えてほしい。
- 在校時間を減らすように言われているが、持ち帰って家で仕事をするくらいなら、学校で済ませたい。仕事場が、家か学校かで違うだけなのに…。根本的に授業時数を減らすなどの負担を減らすことがなければ、在校時間（時間外勤務）は短縮されない。
- 行事や取り組みの見直しが必要だと思います。
- 仕事内容を見直す必要があると思う。
- 仕事量は減らないのに、早く帰ることは不可能。
- 事務仕事の軽減。成績処理等の見直し。
- 多忙化解消はできないとあきらめている。早く帰っても仕事が残るだけ。
- 子どものためにならない取り組みは、思い切ってなくすよう考えてほしい。

(教員免許更新制や教職員評価制度等の見直し)

- 教員免許更新制は、教師から費用も時間も余裕も奪っていくもの。自分が一番必要とする研修ができるようにしてほしい。
- 教員免許更新がもうすぐ一巡し二回目がある。講座を探し、申し込み、受講し更新の手続きをする。多忙化の一つだと思う。
- 教職員評価は、仕事が多くなる。無意味、これこそ多忙化解消。
- (教員免許更新制、教職員評価制度は)世間に対してのアピールにしか思えない。これらによって、こちらは負担が増えるので中止してほしい。
- 免許更新制は、一回りしたところで廃止。不公平。医師や弁護士はないのだから。特に医師は最新のことがたくさんあるので必要だと思うが。
- 免許更新は金だけとられる。日々勉強(現場が)復帰してやっつけていけるか不安しかない。
- 教員免許についての調査が何度もありました。1回でいいのでは。
- 負担の多い免許更新や無駄と思われる評価制度は早くやめるべき。
- 陸上記録会や市美展の廃止などでは変わらない。市教研や尾教研、免許更新、十年研など根本的な改革が必要だと思う。

(働きやすい環境づくり)

- 土日をしっかり休める環境にしてほしい。
- みんないっぱいいっぱい仕事をしている。弱みを見せられないピリピリした雰囲気を感じる。
- 大変な児童を受け持っている教師がいます。教師、支援員さんが心の病気になりそうです。相談する人(カウンセラー)も予約がいっぱいでなかなか順番がまわってきません。市の教育委員会に相談しても相談する機関もありません。学校全体でその児童を見守ろうと思っても、教師の人数が足りません。

- 全職員が健康でゆとりをもって仕事ができるようにしてほしい。
- 保護者の対応で心を痛める人が多いのは残念。
- 担任の先生には、すごく負担がかかっていると思います。部活をやっていた頃は、土日もなく大変でした。

5

(その他)

- 教師自身が時間の管理について見直す必要もあるだろうし、お互い思いやる心を教師自身が身につけないといけないとも思う。適正な学校規模とはどれくらいなのだろうか。
- 帳簿類が電子化されていて素晴らしいと思いました。授業準備が大変なので、資料も残してデータ化し共有すると負担も減るかと思います。
- 今年をはじめととも働く教師に対してのストレスが半端ない。子どもも保護者もいい分、同僚がストレスの種というのが悲しい。
- 今は経験を積むしかないかなと思っています。(多忙感について)
- 多忙はある程度仕方ないと思います。
- 現状、やらなければいけないことに忙殺されている。特に6年生なので…。
- 今、全体が多忙化解消に向かっているが、部活やれないストレスがあると聞いています。また、研修を減らすのは本末転倒。力がない教員が忙しくさせています。多忙化の名の下に何でもスリム化しようとする雰囲気を感じるが、すべてスリム化したら、教育はどうなるのかという不安がある。

10

15

20

6 その他

(駐車料金)

- 駐車料金は、絶対になくすべき。
- 駐車料金をとるのはおかしい。先生からとって、スポーツ団体からはとらないのは変。社用車を用意することもない。全員が電車やバスの通勤にして財政を圧迫させるぐらいの行動を起してもいいと思います。
- 駐車料金やパワハラセクハラ問題は、幸い勤務校には当てはまりません。絶対になくしてほしいです。
- 駐車料金は、同じ管内の大口町などはないので不公平。
- 駐車料金の無料化。

25

30

(その他)

- ノー残業デーで、やりたいことがやりたいときにできなくなるのは困る。結局、持ち帰ったり休日に出て来たりが増える。
- 学校長が特定の職員(複数)とラインアプリでつながり、勤務時間外に仕事の催促をしてくる(ホームページのアップなど)。
- 7月に犬山市で大雨による避難勧告が出た際、犬山市在住で他の市町の学校勤務の自分は、通常の子童下校後に自分のスマホを見て初めて知り、わが子を迎えに行くのが遅れてしまった。犬山市在住の職員にはすぐに知らせて欲しかった。

35

40